

電 設 新 聞

発行所
社福島県電設業協会
発行人 松崎 勉
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電設業協会館)
TEL (024)533-6226
FAX (024)533-6235
編集印刷 有福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

TOSHIBA
明るく、
スリムで、
長寿命。

東芝薄型照明器具
ネオスリムV
東芝ライテック株式会社
1郡山営業所 TEL (024)922-5511

燃料電池がテーマ

15年度 上級者研修会開く

当協会は十一月十四日に平成十五年度上級者研修会を二本松市の奥男女共生センターで開催、各社から八十三名の技術者が参加した。新エネルギーに関する取り組みの一環として、テーマとして燃料電池を初めて取り上げ、松下電工(株)から講師を招いて技術開発の現状や、将来展望などについて説明を聞き、CO2削減の切り札と言われる燃料電池に対する理解を深めた。

技術開発の現状を確認

研修に先立ちあいさつに「起きている技術。業界を取り上げていくことは難しくなってきた。協会としては、新日(株)の燃料電池で、今までのような箱物主として光ケーブルは、各方面から関心が高まっている。企業経営、業界運営を、や太陽光・風力発電、トン

ネルの防災設備等に取り組んできたが、この燃料電池については今後多くの需要が見込まれる技術分野だと考えている。その意味で、会員企業の皆さんが十分な知識を得ていないとお客様に対応できないし、技術をアピールすることはできない。きょうの勉強会は、将来を見越した技術への理解を深めることであり、我々の技術においても新しい柱となる。これを各社に持ち

帰って知識の水平展開を図って頂きたい」と出席者に呼びかけた。
研修では、松下電工(株)R&D企画室FCGグループ主幹技師の橋本登氏が講師を務め、「燃料電池の展望について」と題して、技術開発の現状や燃料電池の原理、構造、将来性などを二時間にわたり講義し、その後に参加者と質疑応答を行った。
橋本氏は、一九九七年の地球温暖化防止枠組み条約第三回締約国会議により設定されたCO2削減目標を説明しながら、エネルギー消費の見直しが行われるようになった経過を解説し、一般家庭における給湯需要に「電気需要に」対して「エネルギー消費原単位比で

一前後と、燃料電池コージェネレーションシステムがつくりだすお湯と電気の比率に近いため、導入によるエネルギーの有効利用が期待される」と技術開発の背景を語り、一八三八年に遡って技術開発の歴史を語った。
その上で、松下電工におけるポータブル発電機や住宅用コージェネレーションシステムの開発状況を説明した。

市ウェディングエルティで開催された。
大会では、表彰状や感謝状の伝達が行われ、当協会郡山支部の太陽電設(株)三瓶孝社長が、建設業労働災害防止協会福島県支部長表彰を受賞した。
建設関係者ら百三十五人が出席した大会では、藤岡俊明福島労働局長があいさつに立ち「厳しい経営環境の中で雇用改善を実施することは容易なことではないが、一人ひとりが生き生きと安心して働けるよう、なお一層ご理解を賜りたい」とあいさつした。引き続き、厚生労働大臣表彰や国土交通大臣表彰、県知事感謝状が伝達された。

三浦電気工事(株)の担当者として使用されており、原子力防災専門官が常駐している。災害発生時には、関係機関と報道関係者を招集して、迅速な情報収集、伝達を行う拠点として機能する。
参加者は、同センターに移動し午後二時から現場研修に入った。まず、二階にある全体会議スペースで経済産業省の担当者からセンターの役割と緊急時の対応、テレビ電話や通信回線などに関する説明を受けた後、一階の非常用発電室とプレスルーム、屋上のアンテナ類二班に分かれて見学し、全体会議スペースにもどって質疑応答を行った。

また、県相建設事務所佐々木孝男建築住宅部長は「できるだけ多くの機会を設けて、実際に施設を見学することは有意義。原子力災害対策センターは、原子力に関係する災害時の拠点となる珍しい施設であり、設備の成り立ちも含めて十分に研修して欲しい。公共事業が減少して業界を取り巻く環境は厳しさが増しているが、県内産業の振興を図る観点から官民で情報交換を進めることが必要だ。特に技術力の向上に関しては、官民の壁を乗り越えて取り組む必要があると考える」と述べた。
この後、施工にあたった



全体会議スペースで説明を受ける参加者

当協会は、十一月二十二日に大熊町で平成十五年度現場研修会を開催した。研修会には役員と県内各地区の会員企業から主任技術者ら合わせて八十名が出席し、県原子力災害対策センターの電気設備を研修した。

参加者は、午後一時に大熊町商工会館に集合、工事概要説明を受けた。はじめに松崎勉会長があいさつに

立ち「従来の現場研修は、施工中の現場で行ってきたが、今回は竣工した施設での研修となる。原子力災害対策センターは、全国でも数少ない施設であり、設備的にも密度が濃く勉強になると思う。現在、中央では公共工事の入札制度に関する議論が行われており、これまでの価格を中心としたものから技術評価を加味した形に変える動きがある。

立ち「従来の現場研修は、生き残っていくためには、今まで以上に技術の習得に力を入れて行かなくてはならない。会員企業の技術力は中央の業者にひけをとらないと評価されているが、今後とも技術力の向上に向けて断続的な努力をしていきたい。きょうの研修内容は各社に持ち帰って水平展開していただきたい」と述べた。

また、県相建設事務所佐々木孝男建築住宅部長は「できるだけ多くの機会を設けて、実際に施設を見学することは有意義。原子力災害対策センターは、原子力に関係する災害時の拠点となる珍しい施設であり、設備の成り立ちも含めて十分に研修して欲しい。公共事業が減少して業界を取り巻く環境は厳しさが増しているが、県内産業の振興を図る観点から官民で情報交換を進めることが必要だ。特に技術力の向上に関しては、官民の壁を乗り越えて取り組む必要があると考える」と述べた。
この後、施工にあたった

三浦電気工事(株)の担当者として使用されており、原子力防災専門官が常駐している。災害発生時には、関係機関と報道関係者を招集して、迅速な情報収集、伝達を行う拠点として機能する。
参加者は、同センターに移動し午後二時から現場研修に入った。まず、二階にある全体会議スペースで経済産業省の担当者からセンターの役割と緊急時の対応、テレビ電話や通信回線などに関する説明を受けた後、一階の非常用発電室とプレスルーム、屋上のアンテナ類二班に分かれて見学し、全体会議スペースにもどって質疑応答を行った。

三浦電気工事(株)の担当者として使用されており、原子力防災専門官が常駐している。災害発生時には、関係機関と報道関係者を招集して、迅速な情報収集、伝達を行う拠点として機能する。
参加者は、同センターに移動し午後二時から現場研修に入った。まず、二階にある全体会議スペースで経済産業省の担当者からセンターの役割と緊急時の対応、テレビ電話や通信回線などに関する説明を受けた後、一階の非常用発電室とプレスルーム、屋上のアンテナ類二班に分かれて見学し、全体会議スペースにもどって質疑応答を行った。

参加者は、同センターに移動し午後二時から現場研修に入った。まず、二階にある全体会議スペースで経済産業省の担当者からセンターの役割と緊急時の対応、テレビ電話や通信回線などに関する説明を受けた後、一階の非常用発電室とプレスルーム、屋上のアンテナ類二班に分かれて見学し、全体会議スペースにもどって質疑応答を行った。



実用化に向けた取り組みを学んだ研修会

National 松下電工

LEDの可能性。
この光が、空間を変えていく。

熱線はゼロというCoolさ。
チップ型LED採用で厚さ16mmのCompact設計。
業界初、LEDがChange可能。●平成14年3月現在当社調べ。
アルミダイカスト製のスタイリッシュなフォルム。

光とフォルムが新しいLED照明器具、誕生。

GLEDs
ディスプレイ用・LED照明器具 [シーレス]

http://dmedia.mew.co.jp/Ebox/c-leds

●資料のご請求は、〒571-8686 松下電工(株) 照明事業分社
マーケティング総合部(住所不要) TEL.(06)6908-1131(大代表)

Smart Solutions by NAIS

National 松下電工

安全を、より安全にするために。
ビルの誘導灯をネットワーク化。
万一の時の不点灯を見逃しません。

○ビル内の誘導灯を一括で監視できるシステムです。

制御装置 信号線 パソコン

EMIT エミット・自動点検機能付誘導灯

EMIT (Embedded Micro Internetworking Technology) は、松下電工のネット事業を支える独自技術の総称です。そして、あらゆる設備機器端末のインターネット接続を可能にします。

○資料のご請求は、〒571-8686 松下電工(株) 照明分社 マーケティング総合部(住所記載不要) TEL.06-6908-1131(大代表)まで。

○インターネットでも詳しい情報をご覧ください。http://www.mew.co.jp/Ebox/emit

Smart Solutions by NAIS

新エネルギーと技術

冷え性や不眠症の方に 赤外線シャワー効果

環境にやさしく生み出された電気エネルギーを、動力・熱・光として生活で利用しているわけですが、効率良く使用するために、より損失の少ない製品が発売されています。熱利用のなかで電気床暖房があります。電源によって方式があり、また素材および形状(厚み)で幾つかの種類に分けることができ、施主の生活スタイル及び施工場所により選定し効果的に提供しなければなりません。また、動力・熱・光の消費状況を監視し制御することが重要です。電気床暖房の一部と、映像により監視し制御・操作するネットワークカメラについて紹介いたします。効率の良い新製品(エネルギー)と管理システムを理解し、環境に合わせて提案するのが、施工者に求められる技術と考えます。

0.7ミリの超薄型 炭素繊維発熱体

理想のヒーティングを実現
このヒーターは、カーボンファイバー(炭素繊維)を複合フィルムで高圧・高温密封した高効率

赤外線放射体です。安全絶縁、防水構造の本体は0.7ミリと非常に薄い上、一平方センチメートルあたり二トンの耐荷重量があり、しかも施工

が容易なため、床暖房はもとより、雪国の融雪対策、農水産業の発芽促進、木材・海産物の乾燥等、内外を問わず幅広い分野で活用されています。

温度ムラがなく温度上昇が早い省エネタイプ
超薄型なので熱効率や

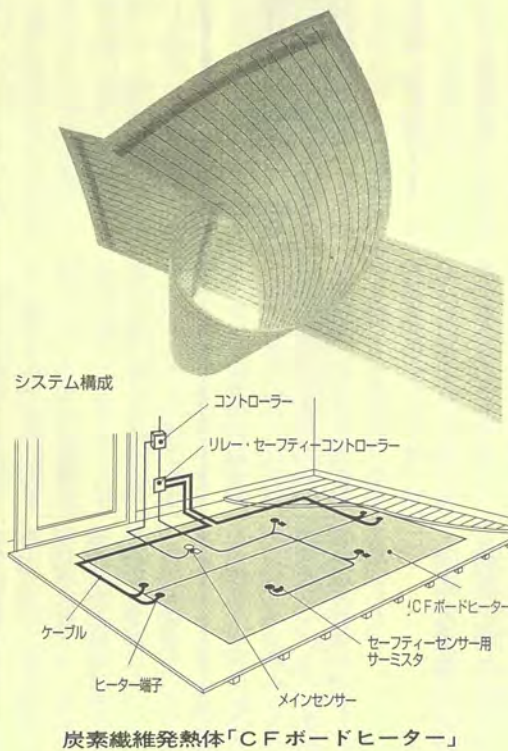
熱伝導率が良く立ち上がりの温度上昇が早いのが特徴。また、発熱体の間隔が狭いため温度ムラが少ない。

赤外線放射率が高い
赤外線とは、太陽からの放射エネルギーのうち、柔らかい暖かさを感ずる波長の長いものを言います。赤線の波長

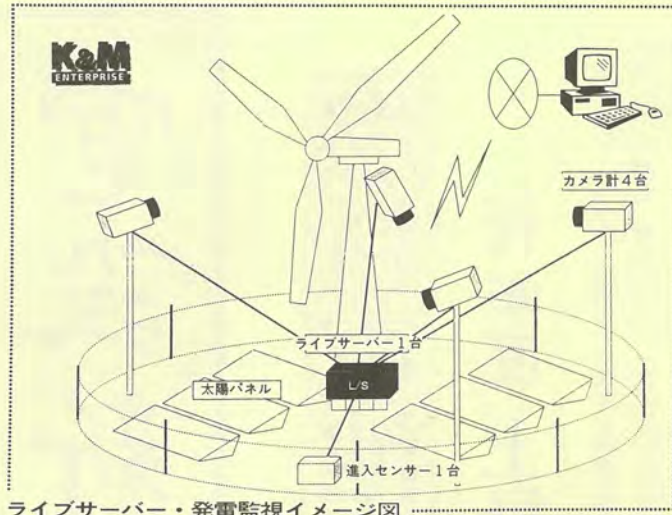
は近赤外線・赤外線・遠赤外線に分けられ、0.75〜100ミクロン位が一般的です。このヒーターは、赤線の全波長を効率よく放射します。このため、健康効果もあるとされています。

安全で施工が容易
ヒーター本体のヒータークロスを完全に密封し

た複合フィルムを使用しているため、強度・絶縁性・防水性に優れ安全。しかも軽くて柔軟性があり扱い易く、施工が容易なため工期の短縮等コストダウンにつながる。(商品名・CFボードヒーター、製造元・株式会社ワ商会)



ライブサーバーで実現 監視画像とシステム制御の融合



独自の画像圧縮技術
ケーアンドエムエンタープライズ(株)、(以降、K&M、03-5475-3590)は、二〇〇〇年一月に画像圧縮伝送装置の販社として設立されました。親会社である九州エレクトロニクスシステム(株)により、半導体製造装置の副産物として画像圧縮技術が生み出されました。

この独自開発の画像圧縮技術はK&M方式と言いい、日米の特許を取得して制御技術と共に「ライブサーバー」として製品化し、企画・販売を行っています。K&M方式は、インターネットやDVDなどで広く利用されているMPEG方式とは全く違う圧縮方式であり、公開されておりませ

るのでコピー・再編集・改ざん等によって変更されることなく、防犯・監視システムに適しております。

監視システムの最先端プロジェクトに実績
この「ライブサーバー」を使った画像監視システムは今年の春にオープンした都内の大規模地域再開発プロジェクトに採用され、カメラ一千台以上を「ライブサーバー」約三百台に接続して稼働中です。また、犯罪抑止効果で注目されているスパー防犯灯や、大阪池田小学校の事件以降各地に設置されている子供緊急通報装置にも採用された実績があります。近年著しく発展している高速インターネットの普及、パソコンの高性能

化、ネットワーク技術の発展、残念ながら犯罪の凶悪化などが追い風となっており、監視システムの採用が急増しています。

十月にパシフィック横浜で行われた「グリーンビジネス展」でも展示された太陽電池街路防犯灯にも採用され、各地で設置されている風力発電プロジェクトの監視など新エネルギー分野でも需要が高まっております。

技術の特徴
MPEG方式に比べ、圧縮技術表示品質が良い、データ量が少ない、遅延が少ないなどの強みがあります。また、制御技術については、標準で入出力各四点を用意しており、遠隔制御として使

用できます。更に光イン

タフェース基板とI/Oユニットを増設することにより、三万二千点まで入出力を増設でき、映像、音声、制御の三つを一台の「ライブサーバー」で処理できシステム単体化が可能です。

ソフトウェアによる処理ソフトウェアでのデジタル処理を行いますので、ソフトウェア上で動作する画像センサーを使用することが出来ます。現場でのセンサーの設置・配線工事・表示機器などが不要となり、コンピュータが自動監視し、画像センサーが動作するとアラームで知らせたり、ライトを点灯させ、また、ポップアップ画面を表示して更に自動録画を設定することも出来ます。そのほかの処理によ

り、人の上半身拡大写真をJPEGで保存したり、必要に応じて録画機を付加することが可能。様々な装置への接続
新エネルギー機器専門の各メーカーが提供している既存システムへの接続の目的は、前述の画像と遠隔制御システムを付加することにより、機能面での性能向上と安全・セキュリティ面での信頼性向上を提供できるという事です。また、そのシステム規模に応じた画像表示・制御操作のソフトウェアを開発することが必要となりますが、そのためのソフトウェア開発キット(SDK)を用意して自在な開発環境を提供しております。(六洋電気(株)・小原智宏と)

FA・OAのシステムプランナー

株式会社ニノテック

代表取締役社長 樽川次男

本社 〒963-8034 郡山市島二丁目44-2
Tel (024)935-1700(代)

支店 仙台
営業所 いわき 福島 宇都宮
出張所 棚倉
事務所 東京

換気扇・照明器・空調機・太陽光発電

株式会社 **三菱電機ライフファシリティーズ**

福島電材支店
福島冷住支店

TEL (024) 959-6060
FAX (024) 959-6066

ディーゼル発電機 ガスタービン
コージェネレーションシステム

東北ヤンマー株式会社

いわき支店

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一

TEL (024) 581-5811
FAX (024) 581-5688

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

本社 〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

営業所

河川	TEL (0248) 27-3385(代)
白須賀	TEL (0248) 72-7136(代)
須賀川	TEL (024) 952-5455(代)
山西南	TEL (024) 923-3298(代)
山北	TEL (024) 939-3081(代)
山津	TEL (0242) 37-2660(代)
会津	TEL (0244) 22-5105(代)
原町	TEL (0244) 35-1234(代)
相馬	TEL (024) 546-3700(代)
福島東	TEL (024) 553-1181(代)
福島南	TEL (0246) 28-6111(代)
いわき	TEL (0246) 62-3122(代)
来	

茨城県内・千葉県内・埼玉県内・栃木県内・新潟県内 29カ所
住設建材営業所 6カ所

特別高圧設備 更新工事例と施工要領

第18回 工事施工体験発表会



泉電設株 工事課 松田和夫

【はじめに】
当社で施工した「特別高圧受変電設備工事の更新工事事例と施工要領」について発表いたします。現場代理人の立場で取組んだ施工管理、安全管理、品質管理

周囲の状況を把握し 各作業の安全を確保

【工事の経過】
◎更新工事の施工フローについて

工事の受注が決定し、社内体制が決定されて上司より現場代理人の任命を受けました。充電部近接作業、停電切替作業など難易度が高く危険作業が予測され不安を感じました。

工事着工前に現地調査を行い、施工図、施工計画書を作成します。現地調査においては、工事周囲の埋設物、障害物が無いか、充電部

施工計画においては、現地調査に基づき仮設計画、安全計画、工事工程表、作業手順について検討し作成します。特に安全については、六六KVの高電圧部分があり作業において感電災害など無い様、安全区画を考慮して対策を講じました。

社内検討会を実施

◎工事毎の留意点と社内検討について
現地工事前に社内において社内引継ぎ、社内検討会「デザインレビュー(DR)」など様々な業務を経る現地工事に入ります。当該

社内の引継ぎ、社内検討会「デザインレビュー(DR)」など様々な業務を経る現地工事に入ります。当該

【まとめ】
今回は特別高圧受変電設備工事について当社の取組みを紹介させていただきます。毎々の停電工事を無事終わらせるためには様々なステップが存在し社内各課との綿密な計画と機器メーカーとの打合せと協力を得て更に顧客の支援が得られてこそ最終目標の顧客満足度の高い製品の納入が重要であると感じました。

【工事概要】
▽工事名称 自動車機器用製造工場 特別高圧受変電設備更新工事
▽工事場所 茨城県ひたちなか市
▽工期 平成十三年十月十日～平成十四年二月二十日まで

▽設備概要 受電電力六六KV、最大電力二七、五〇〇KW、受電方式・ガス遮断器(GCB)
▽更新設備概要 アルミハブ式母線、断路装置、変圧器(三台)、SWG

【設備概要】
今回発表する受変電設備は、電圧六六KV、最大電力二七、五〇〇KW、自家

Rをガス絶縁開閉装置、変圧器(一台集約化)、新SWG Rへ更新する

受変電設備の歴史を振り返り紹介すると、一九七五年頃からガス遮断器(GCB)が普及し、今日はガス絶縁式型の受変電設備(GIS)が主体となり今日に至っております。ガス絶縁式型の受変電設備(GIS)が今日主体になってきた理由は、土地の有効利用(従来の敷地面積が四分の一)やメンテナンスフリーなど従来の受変電設備

と比べて需要家にとってメリットが十分にあり今後もGIS化が主体になっていくと思えます。しかしながら今日の現状は、近年の不況のため大規模工場の設備の投資が落ち込み新設よりも既設設備の更新工事が増加しているのが現状のよう

今回の設備更新の理由は、工場内の特高受変電設備が三十年以上経過し老朽化し、設備の信頼性向上のため更新するものです。

平成十二年二月に無事工事を終了し現場事務所を引き上げました。現場全体を

【電気設備の環境問題と対策について】
最後に電気設備における環境影響対策についてSF6ガス回収について紹介いたします。

先日、事務局でも大掃除を実施しました。不必要な書類があるのですが、なかなか捨てるのができず、保管場所が変わっただけの感じがしないでもありません。思い切りが必要のようです。

部は無いが、機器搬入路において進入路に障害物等が無いルートを確認しました。また更新機器に関しては、ケーブルの発着点、サイズ、相順などを目視で確認し図面と照合し記録して更新時の切替作業時に参考にします。問題点があれば質問事項をメモして今後の打ち合せにて問題点の解決を図ります。目視とはいえ高圧の充電部ですので、周囲状況を把握し安全に行なう事を心掛けました。

絶対耐力試験については、試験を実施する前に絶縁耐力試験要領書を作成し、まず機器、ケーブルの静電容量、充電電流を求め試験用変圧器容量を求めます。なぜこの様に試験器容量を確認するかと言うと、ケーブルなどが以外に充電電流が流れる為試験器容量が不足し、試験が出来なくなることがあるからです。やはり十分な事前検討がされていないと失敗もするの自信の持てる要領書にはなりません。

要領書の中には、安全管理も含まれます。事故事例として受電後に主回路短絡事故事例がありその原因に耐圧試験時に取付けた短絡線の取り忘れがあり変圧器の焼損事故を起こした事例があります。大きな物損と復旧にかかる多大な労力がかかり信用失墜につながります。現場代理人としてこの様な重大事故が発生しないよう自分の目で確認し安全を確かめています。

◎工事完成後の不測の不具合
平成十二年二月に無事工事を終了し現場事務所を引き上げました。現場全体を

【電気設備の環境問題と対策について】
最後に電気設備における環境影響対策について紹介いたします。

先日、事務局でも大掃除を実施しました。不必要な書類があるのですが、なかなか捨てるのができず、保管場所が変わっただけの感じがしないでもありません。思い切りが必要のようです。

早いもので今年もう師走。事務局三人、ワイワイ、ガヤガヤ、文殊の知恵もせず、師走の忙しさを楽しんで業務に励んでおります。

電気技術総合コンサルタント!!
自家用電気施設のごは、お気軽に、ご相談下さい。
TEMA 社団法人東北電気管理技術者協会
協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目11-11プレシーサ仙台ビル ☎(022)261-6015
福島県支部/伊達郡川俣町飯坂戸ノ内5-3 ☎(024)566-3087
福島電気管理センター/安達郡安達町油井字漆原42 ☎(0243)22-2674
郡山電気管理センター/郡山市日和町字日向84-5 ☎(024)958-5203
会津電気管理センター/河沼郡河東町大字谷沢字十文字53 ☎(0242)75-2518
原町電気管理センター/原町市仲町一丁目157 ☎(024)22-2817
白河電気管理センター/西白河郡東村大字釜子字枇杷山68-3 ☎(0248)34-2205
いわき電気管理センター/いわき市平字堂ノ前18 ☎(0246)21-9828

電気設備の総合メンテナンスは当協会に!
当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。
財団法人東北電気保安協会
福島事業本部 福島市置賜町1-29 ☎(024)528-9366
福島事業所 福島市泉字南谷地5-6 ☎(024)557-2161
原町事業所 原町市上津佐字原田432-1 ☎(0244)22-3568
郡山事業所 郡山市富久山町久保田字池田7-1 ☎(024)932-6054
白河事業所 白河市東三坂山2-47 ☎(0248)22-6066
いわき事業所 いわき市好間町上好間字洞42-1 ☎(0246)36-1177
会津若松事業所 会津若松市町北町大字上荒久田字村北147 ☎(0242)32-3350
須賀川事業所 須賀川市大字西川字後田78-5 ☎(0248)72-9120

春と秋、夕暮れと夜。
1つのランプが2つの光色を持ちました。
ツインアーク
1つの外球バルブ内に水銀ランプと高圧ナトリウムランプの2つの発光管を取めた2光色発光形H1Dランプ「ツインアーク」誕生
EYE 岩崎電気株式会社
郡山営業所・☎(024)961-2292 F A X 961-2265
いわき営業所・☎(0246)23-1386 F A X 22-3716

電設資材全般卸
地域と共に歩む
東北東芝電材株式会社
福島営業所 Tel (024)553-4165
相馬営業所 Tel (0244)36-8901
郡山営業所 Tel (024)934-3065
白河営業所 Tel (0248)21-0360
いわき営業所 Tel (0246)75-0700

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸
戸部電材株式会社
仙台市宮城野区2丁目2-13・TEL(022)783-8181
■福島営業所/福島市瀬上町字桜町3丁目12-3 ☎(024)553-8551代
■郡山営業所/郡山市大槻町下町東52 ☎(024)961-6667代
■いわき営業所/いわき市鹿島町御代一田1-1 ☎(0246)76-1055代
■原町営業所/原町市北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106代
■相馬営業所/相馬市権木字北原104-1 ☎(0244)335-6350代

技術と信用を誇る
電気、機械の総合メーカー!!
DAIZEN
(販売元) 大然総業株式会社
(製造元) 大全電機株式会社
〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL(022)288-0701代 FAX(022)288-0705

支部だより

福島支部

還暦・新社長祝う
 「還暦・社長就任を祝う会」が、さる十一月二十六日に飯坂温泉の伊勢屋旅館で開催されました。

本年は、高橋電気工業(株)・高橋武様と電工社(株)・作田利雄様が還暦を迎えられ、また、吉田電気工業(株)・吉田隆悦氏、菊池電設工業(株)・菊池吉浩氏、(株)須南電設・齋藤幸一氏の三名が新社長に就任されました。祝賀会では、大室支部長よりお祝いのあいさつをいただき、記念品の贈呈を行いました。支部会員全員でお祝いを申し上げることも、五名の方々の今後ますますのご活躍を祈念するところです。

郡山支部

三団体で研修会
 さる十月二十四日に郡山市の郡山ビューホテルで、建設三団体(郡県建設業協会郡山支部、(株)県空調衛生工業事業協会南支店、当郡山支部)による合同研修会が開催されました。

講演では、(株)くしま建築住宅センター理事長の宗像武久様による「建築雑感」と題したお話を拝聴させていただきました。特に「新聞からの話題」は、今までの経験談を踏まえながらユーモアを交えてお話されましたので、大変おもしろく印象に残りました。その後、三団体による合同懇親会に移り、互いに親睦を深めることができました。

白河支部

首都機能移転を再考
 十一月末の某参議院議員後援会で考えたこと。議員は、講演の中で大手ゼネコンの収益回復傾向の理由について、「企業の合理化努力もあると思うが、大半は『下請泣かせ』ではないかと、全国を廻りながら訴えられている」と現状認識を示し、「このような声を吸収し、政治に反映させていく努力を重ねたい」とのこと。より一層の活躍を期待したい。

一方、経済活動が低迷している現在、テレビを観ながら考えたこと。

いわき支部

支部で安全大会
 いわき支部は、いわき電設業協会と共催で、十一月十九日に安全大会を開催し、会員事業所から八十数名が参加しました。

ご来賓のあいさつの後、上映されたビデオ「社長さん、知っていますか、電気工事の安全管理」では、安全に関する事業主の責任を改めて自覚し、続いて行われた(株)ユアテックの河野克彦氏による「安全衛生」の講演には、なるほどと納得して第一部を終了しました。

相双支部

遠藤氏が安全表彰
 さる十月十六日と十七日に新潟市の朱鷺メッセで開催された第四十回全国建設業労働災害防止大会で、光洋電設(株)配電課長の遠藤俊行氏が、晴れの安全衛生表彰を受賞した。

遠藤氏は、東北電力(株)の配電工事部門の班長、課長として永年にわたる安全衛生面の功績が評価されたものです。厚生労働大臣、国土交通大臣、新潟県知事、新潟市長が来賓として出席された全国大会での表彰とあって、本人も会社も大変名誉なことを受け止めることになりました。

編集後記

人には、生涯の目標があるはず。それに向かって日々の生活に、仕事に、遊びに励んでいることだと思います。

私は、幼稚園の頃から父に「電気屋になるんだぞ」と言われ育ち、後を継ぎ現在に至っています。これで良いのか悪いのか分かりませんが、これも人生の遠征、モスクワのジュニア世界選手権大会にも出場させていただきました。また、来年のナショナルチームの強化指定選手にも選ばれたことがうれしいところでは、必ず目標を持つこと、それに向かって達成するんだという信念を持って何事も実行していく人生にとって大切なことだということです。

親とすれば、高校三年間、横道にずれないで頑張れたことがうれしいところでは、必ず目標を持つこと、それに向かって達成するんだという信念を持って何事も実行していく人生にとって大切なことだということです。

共工事の仕事をしてきた私達の誇りもなくなってしまう。これから会津は冬を迎えます。

水道、揚水ポンプ等の凍結、積雪による停電等々、過去にはいろいろなありまうと我々は協力してききました。

これからは、夜中にどこに電話すればいいのでしょうか。(株)和合電機・水沼卓の仕方になって、丁寧に公二記)

第一部では、六興電気(株)の向坂知津緒括安全衛生管理者による特別安全講話「電気工事の安全管理」があり、十二月は労災事故が多いこと、一人親方の労災保険特別加入の確認が大事であることなどを肝に銘じ、最後に三浦電気工事(株)の土田義巳工務部主任の首頭で安全スローガンを唱和して、安全への決意を新たに、三時間にわたる大会を終了しました。

会津支部

私達の誇りは...
 県内でいち早く予定価格を公表して、入札制度に新風を吹き込んでいた会津若松市の入札制度がガラリと変わります。

協会の動き

- 【10月】**
- 6日・(株)日本電設工業協会東北支部活性化委員会に佐藤副会長が出席(仙台市)
 - ・福島民友新聞社社長就任を祝う会に事務局長が出席(福島市)
 - 9日・担当副会長と技術委員会で現場研修打ち合わせ(県相双建設事務所)
 - 11~12日・会津支部研修旅行(松下電工東京本社)
 - 14日・第4回技術委員会(協会)
 - ・県営繕担当職員との技術研修会参加者がオリエンテーション(協会)
 - 16~17日・(株)日本電設工業会平成15年度会員大会に会長と佐藤副会長が出席(宮崎市)
 - 20日・(株)県建設産業団体連合会NPO設立説明会・第70回役員会に会長が出席(福島市)
 - 21日・第4回正副会長会議(協会)
 - ・10月度会計審査業務(協会)
 - 22日・県の法人検査(協会)
- 【11月】**
- 5日・中間監査のため第2回監事会(協会)
 - ・第1回役員会(福島市)
 - 6日・(株)県建設産業団体連合会第4回参事に事務局長が出席(福島市)
 - 11日・(株)県建設産業団体連合会NPO設立準備会に事務局長が出席(福島市)
 - ・(株)県建設業協会主催平成15年度県建設雇用改善推進大会(福島市)
 - 13日・平成15年度東北地方工事安全施工推進大会に相双支部役員が出席(仙台市)
 - 14日・平成15年度上級者研修会(二本松市)
 - 15~17日・相双支部先進地視察研修(九州)
 - 17日・県営繕担当職員との技術研修会参加者がオリエンテーション(協会)
 - 19日・11月度会計審査業務(協会)
 - ・いわき支部安全大会(いわき市)
 - 20日・(株)日本電設工業協会理事会に会長が出席(東京)
 - ・会津支部例会(会津若松市)
 - 21日・平成15年度現場研修会(大熊町)
 - 26日・福島支部還暦祝・社長就任祝(福島市)
 - 28日・福島タイムズ新春座談会に会長が出席(福島市)

●ご意見をお寄せ下さい●
 E-mail:fukudensethukyo@syd.odn.ne.jp

KOTTO
 安全と快適を求めて

交通管制システム/道路気象観測システム
 交通信号機/道路情報表示システム

小糸工業株式会社

東北支店 TEL.022-225-7501 FAX.022-267-5053

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

ワム

株式会社山形電機製作所
 福島営業所 所長 高橋 實

福島市大森字宮ノ前54-5 〒960-1101
 TEL(024)546-1321 FAX(024)546-1322
 支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
 工場/山形・北海道千歳

配分電盤専門メーカー

営業品目
 屋内外キュービクル・高低圧配電盤
 各種自動制御盤・各種分電盤

株式会社福陽電機製作所

福島市天神町10番41号
 TEL(024)534-1528 FAX(024)533-8590

つづく未来につづけるエネルギー

- ◎自家発電装置・CVCF発電装置設計・販売・据付・保守点検・整備
- ◎コージェネレーションシステム
- ◎直流電源装置・バッテリー交換
- ◎負荷試験・保護継電器・絶縁耐圧試験

株式会社 機電エンジニアリング

〒963-8845 福島県郡山市名倉247番地の1
 TEL 024-946-0094
 FAX 024-946-1394
 http://www.kiden21.com

安全と信頼

日本信号株式会社

■営業品目 ●交通信号製品 ●駐車場機器製品
 ●入退館システム

■東北支店
 〒980-6122 仙台市青葉区中央1丁目3番1号(AERビル)
 TEL(022)261-8371(代) FAX(022)225-4627

配電盤 制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
 郡山支店 支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎(024)934-0859
 FAX(024)934-0861

本社:仙台市宮城野区扇町2-1-10
 仙台工場:仙台市宮城野区扇町2-1-10
 支店・営業所:仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌